



# 底 徹 底

当たり前のことを当たり前

蕨市立第二中学校  
学校だより  
平成30年度  
第4号(7月号)

## 義経の亡霊が舞台を舞う

校長 荒川 順一

ピンと張りつめた空気。あの世とこの世を結ぶ「橋掛かり」から、源 義経の亡霊が現れる。義経は、鼓や笛の音、謡に合わせて本舞台を厳かにそして妖しげに舞う。決して一つ一つの動作が、激しいわけではないが、言いようのない迫力を感じる。手に汗を握る圧巻の舞台であった。

これは、能「八島」の一説を舞っていただいたときの率直な感想です。

6月11日(月)から二泊三日で、修学旅行に行ってきました。二日目に、河村能舞台で生徒と一緒に「能学おもしろ講座」に参加しました。この講座は、初心者のために、河村 純子先生から、わかりやすく能の基礎を教えていただき、そして実際に鑑賞するというものです。

能は、室町時代に始まった芸能で、ユネスコの世界文化遺産の第1回登録に、ほかの芸能に先んじて堂々指定された、世界最古の演劇です。日本が、世界に誇れる芸術と言えるのです。

河村先生から、こんな問いかけがありました。

「能が600年以上に渡って伝承されてきたのは、どうしてか。」

初期の段階で、能を形式化し、形を崩すこと、変えることを良しとせず厳格なルールを作ったからではないかと予想しましたが、答えはその真逆でした。「少しずつ時代に合わせて変化させ続けてきたから」と、お話をいただき、驚きました。

住する所なきを、まず花と知るべし

能を芸術として形作った世阿弥の言葉です。

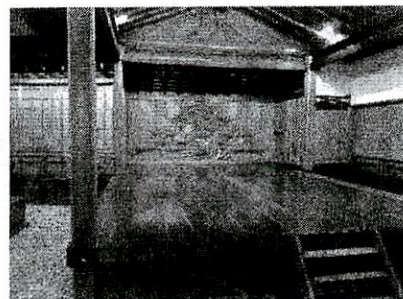
「住する所なき」とは、「そこに留まり続けることなく」という意味だそうです。「停滞することなく、変化することこそが肝要である」と、世阿弥は言っているのです。

修学旅行は大成功でした。今まで何度も行きましたが、私の経験しているものの中で最も良かったと言える修学旅行でした。また、6月8日には、1年生も校外学習に行ってきましたが、こちらも大成功であったと報告を受けています。

あと少しで1学期が終わろうとしています。中学生の活躍をたくさん目にすることができた1学期間でした。

「凡事徹底」の校訓の下、良き伝統は残しつつも、「住する所なき」の意識を持って欲しいと思います。そこに満足し留まり続けることなく、さらに高みを目指して、二  
中がより良い学校になるように願っています。

ガンバレ、  
中学生!



京都 烏丸通りに位置する  
「河村能舞台」

### 《学校教育目標》

自ら学び、深く考える生徒 (知)  
心豊かで、思いやりのある生徒 (徳)  
たくましく、健やかな生徒 (体)

### 蕨市立第二中学校

電話：048-443-2670 FAX：048-443-2671

URL：http://warabi2.com/

e-mail：warabi-2@warabi.ne.jp